

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	PARCウィル伏見		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 5日		2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 21日		2025年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さん、保護者に寄り添った支援ができる。成長の発達過程についての共有や、多職種による様々な視点からの支援が可能。今後もよりお子さん一人一人に沿った内容の支援を提供していく。	日々のお子さんの状態を都度、保護者に共有。モニタリングや日々のお悩みを聴取し、それに対するアプローチを行っている。	より支援計画の内容に沿った支援を行い、支援の充実化、具体的な目標を持ったものにする。
2	療育内容の充実	多職種がいることがうちの強みであり、それにより療育の内容の充実化が図れている。保育士による療育、療法士による姿勢の評価等、看護師による身体のケアを受けながらの療育への参加が可能。	よりスタッフ全体が療育への参加意識を高め、お子さんの日々の様子を把握し、状態に合わせての参加環境を検討していく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同じサービス間同士での繋がりが薄い。	地域全体での交流がないため、発信源がない。	全体でもお子さん同士の交流の場を考案、提供していく必要がある。
2	保護者が参加できるイベントの充実	保護者を呼んでのイベントは、夏に一度、春の卒園、卒業式のみ	大々的なイベントだけではなく、保護者同士も交流ができるような場を提供していきたい
3	災害対策訓練等の実施	開設して1年が経過し、防災訓練等を実施できている。しかし自然災害や、急変対応とさまざまなケースが考えられるため、今後はより内容の具体性を持たせて実施していく必要がある。	近年自然災害が多いため、より緊急時の対策について考える必要がある。さらに医療的ケア児も通所されているため、万が一の緊急時対応も事前に検討が必要。